



# 第22回生涯学習推進大会

～団塊・シニア世代の地域デビューを応援する～

## 学びの広場

去る、2月5日に第22回松田町生涯学習推進大会が第5回町民大学と兼ねて開催されました。170名の参加者を得て盛会裏に実施されました。

### 3名の受賞者

#### 教育委員会表彰で

大会に先立ち、多年にわたり松田町の教育の振興と発展に貢献された方々に賞状と副賞が授与されました。

受賞された方は、寄中学校評議員として尽力された安藤彬さんと高橋千枝子さん。昨年酒匂川の増水により甚大な被害を受けた酒匂川町民親水広場を、多くの団体の中心となり修復に協力し他の模範となった「松田キャスルスズ父母会」代表の北村芳子さんです。

松田町生涯学習推進委員会では研究テーマを「公民館登録団体とスポーツ登録団体の充実」で団塊世代の地域デビューを応援し、その力を松田町の生涯学習推進にどうつなげていくかと設定し、取り組んでいます。

今回は、地域デビューを果たした事例として「ゆうゆう」の皆さんに発表していただきました。

また、講師の天下氏には、団塊世代の地域受け入れ体制の整備で尽力されてきた豊富な経験を基に、地域デビューの極意を語っていただきました。

### 紙芝居でつながる和・話・輪

#### 「ゆうゆう」の活動発表

「ゆうゆう」は、昭和59年に開催された教育委員会主催「手作り絵本講座」への参加がきっかけとなって誕生したサークルが母体で

す。昭和61年、中丸公園での青空紙芝居を皮切りに地域デビューを果たしました。公園には、子どもたちの興味を引き付ける遊具などがあり、いかに紙芝居の方へ目を向けてもらうかを、工夫してきました。現在、幼児から高齢者までを対象に積極的に活動しています

が、この時に培ったノウハウが現在まで生きていくこととす。退職後、入会し活動している遠藤さんが、ピアノ伴奏に乗り「鬼」の切絵を実演され、会場は大いに沸きました。



完成した切り絵

### 地域デビューの極意とは…

#### 大下氏の講演

まず、氏自身がつつと会社人間で生きてこられました。40歳の時川崎市が主催する「父親学校」の講座を10回受講し終了後、仲間とおやじの会「いたか」を立ち上げ、地域デビューを果たしました。

#### 一 第三の人生を生きる

地域デビューをするには、まず、自分の立ち位置を知ることが必要です。人生は四つの時期に分けることができます。第一が育てられ

る時期、第二が自立・仕事・養育の時期、第三は、達成・完成・充実の時期です。伊能忠敬は50歳で商人を引退し、自分より若い先生に弟子入りして天文や測量を勉強しました。その後、17年かけて日本全土の実測地図を完成させた人物です。第三の人生を生きようとする団塊・シニア世代にとって、忠敬の生き方はヒントになります。

#### 二 人生棚卸し

趣味なし、地域活動なし、家族のことは女房任せで、依存・老衰・死の第四の時期を迎えてよいでしょうか。そこで、人生の棚卸しをした方がよいです。自分はどこが弱くてどこが強いを見直してみよう。これが、何かをやるバネになります。

地域デビューする際、自分が本当にやりたいことと地域が必要としていることをどう繋げていくかが課題となります。

次に、「声を掛けてくれる意味」を知っておいたほうが良いです。「あの人が一緒にやれそうだな」と思うから声をかけてくれるのです。声を掛けられたら軽いフットワークでいくことはとても大事です。学校と呼ばれて、こま回し・竹馬などを教えたら子どもたちがとても喜んでくれました。無口で意固地なエンジニアが巨大な割れないシャボン玉を作ったら大受けでした。家にいたら「粗大ゴミ」が学校や公園へ行ったら「先生」になっていました。

#### 三 地域力とは

宮前区の区長をやったときに実感したことがあります。それは、同じ予算でも地域によって凸凹が出てきたことです。人々のつ



▲大下氏

ながりができてきている地域は犯罪発生率が低く、出生率が高く、ボランティアも盛んでした。地域の人のつながりができていけば、信頼関係が生まれ、お互い様の心も育まれてきます。これが「地域力」です。



▲熱心に聞く参加者

#### 四 地域はあなたを待っている

区長をやっていた時に、自分たちでできることまで区でやって欲

しいという要望が寄せられました。自分で解決できることは自分で（自助）、地域で解決できることは地域で（共助）、地域でも解決できないことは公で（公助）取り組んでいくことが、「新しい公共」の考え方です。これを担うのが、ボランティアやNPOなどの活動です。そして、「新しい公共」の中核を担うのが団塊・シニア世代の方々です。地域での活動を通して、住民と行政、住民同士をつなぐ役割を果たすことも期待されています。

五 地域に溶け込み、人の縁を広げていくための7つの条件

- ① 好きなことを楽しいことをやる
- ② 縦から横へギアチェンジ
- ③ 軽いフットワークで
- ④ 個人の思いを「公」につなぐ
- ⑤ 「井戸端会議力」を身につける
- ⑥ 聴き合う関係づくりを

⑦ 違いを楽しむ、余裕の心  
大下氏には、プレゼンテーションソフトを効果的に使いながら肩のこらない話し方で講演していただきました。伊能忠敬の生き方や、地域に溶け込み人の縁を広げていくための条件などは、市町の違いや性別の違いも問わない普遍性のある提言であると考えます。「50代に入り、定年後のことを考えるようになりました。今日のお話は大変参考になりました。自分から積極的に輪の中に入っていくかなければいけない。そうすることで、いろいろな人と巡り合い、また、自分自身が成長していくことだと考えさせられました。」などの50代の女性を始め、今後の自分の生き方を考える上でとても参考になったという感想を沢山いただきました。

## 「はじめの一步」作成の役目は… 社会教育委員の地区研修会で

去る1月28日、「足柄上郡社会教育委員連絡協議会地区研修会」が、展示ホールで開催されました。この研修会は足柄上郡5町の社会教育委員さんが、自らの資質を向上させるために輪番制で毎年開催しているものです。基調報告では、「地域に根差した生涯学習のあり方と社会教育委員の役割」で生涯学習の手引書「はじめの一步」の作成を通してというテーマで当町の吉田恵美子社会教育委員会議議長が発表しました。まず、この冊子の役目や内容を次のとおり説明されました。

#### 1 地域デビューのお手伝い

「はじめの一步」の役目を「地域デビューのお手伝い」と位置付け、団塊の世代の方だけでなく、松田町に新たに転入される方や、何かを始めようと思っっている方にも対象を広げたいと考えました。

#### 2 可能な限りの情報を掲載した

松田町で行われている生涯学習に関係する活動を全て網羅することを目標としました。また、行政が係っていない活動もできる限り

集めました。その後、「はじめの一步」作成を通して学んだことを発表されました。松田町社会教育委員会議では、今後、この手引書作成を通して学んだことを教育委員会へ建議として報告したいと考えているとのこと。

吉田議長発表の後、「NPO法人とならない団体の活動」で「ゆうゆう」の皆さんが、「NPO法人となつている団体の活動」で「NPO法人プロジェクト」について安藤彬委員がそれぞれ発表されました。参加された委員さんは、NPOやNPO法人について高い関心を示し、発表を熱心に聞いて研修を深めていました。

※「はじめの一步」は、教育委員会や文化センター、寄出張所の窓口においてあります。自由にお持ちください。



▲発表の後で記念撮影